



# 地域博物館意識調査 集計結果報告

独立行政法人 国立科学博物館



## 地域博物館意識調査 集計結果報告

本調査について	P.1
【管理運営担当者】	P.3
【学芸業務担当者】	P.13
自由記述欄「ナショナルセンターに期待すること」の回答傾向	P.23
参考資料（アンケート用紙）	P.24

# 本調査について

## ●調査概要

国立科学博物館では文化庁委託事業「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」や地域博物館と連携して展示を開催するコラボミュージアム等の事業を通じて、国立科学博物館が開発したプログラムの共有や連携展示、研修事業など、これまで様々な方法で地域博物館の活動を支援してきた。物的資源や知的資源を活用したこのような取組は、時代の変化や博物館を取り巻く状況の変化によって今後ますます重要となってくる一方で、限られた財政の中で効率的・効果的な事業を展開するためには、どのような博物館に、どのような内容の支援を実施すべきか、国立科学博物館としても検討する必要がある。

今後の当館の事業戦略の検討には、この受け手となる全国の博物館やそこに所属する学芸員や職員が、どのようなフォローを望んでいるのかの「ニーズ」を知ることが不可欠であることから、本事業では、全国の博物館の学芸員や職員の「ニーズ」を把握すべく、「社会教育調査」「博物館総合調査」等の既存の調査結果の内容を精査し、全国科学博物館協議会加盟館などを対象としてアンケートを実施した。

## ●調査対象

国立科学博物館の支援対象としては第一義的には科学系博物館となるが、全国には中～大規模の科学系博物館を持たない都道府県もある。こうした地域の博物館関係者やその先にいる市民は、そもそも国立科学博物館や科学系の展示との接点が少ないものと思われる。こういった地域への支援も、今後求められていく可能性があるため、アンケートにおいてはこうした地域も調査の対象とした。

- ・全国科学博物館協議会加盟館
- ・地域の中核となる科学系博物館がない地域の小さな博物館（科学系であることを問わない）
- ・過去に当館と連携事業をおこなった小規模の博物館

上記3点のいずれかに該当する全国の地域博物館 425館に調査を依頼した。

## ●調査目的

今後の地域の博物館の活性化に資する事業を展開するにあたり、全国の博物館の運営状況と、博物館で働く学芸員や職員が感じている課題やニーズについて明らかにする。この調査においては、質問紙の回答者を各館に【管理運営担当者】と【学芸業務担当者】に分けて回答する方法をとり、博物館の実態把握に向けて、2つの軸から迫まることとした。

ここでいう【管理運営担当者】と【学芸業務担当者】は以下のように定義した。

管理運営担当者：博物館の事務や施設管理を担っている管理運営関連の担当者

学芸業務担当者：調査研究・展示・教育普及等を担っている学芸関連の担当者

こうした2つの質問紙を用意することで、博物館の学術的な側面と、博物館運営や管理についての側面の双方から博物館のニーズ把握を行うことを狙いとした。

## ●調査方法

形式：郵送による発送・返送形式、紙面での回答（参考資料参照）

調査期間：2019年4月上旬～下旬

## ●回答状況

231館/425館の回答（調査結果の詳細は次頁を参照）

管理運営編 **249館/425館**（回答率**58.6%**）

地方毎の回答数【管理運営編】 合計：249館			
北海道地方	21	近畿地方	33
東北地方	26	中国地方	19
関東地方	57	四国地方	8
中部地方	62	九州地方	23

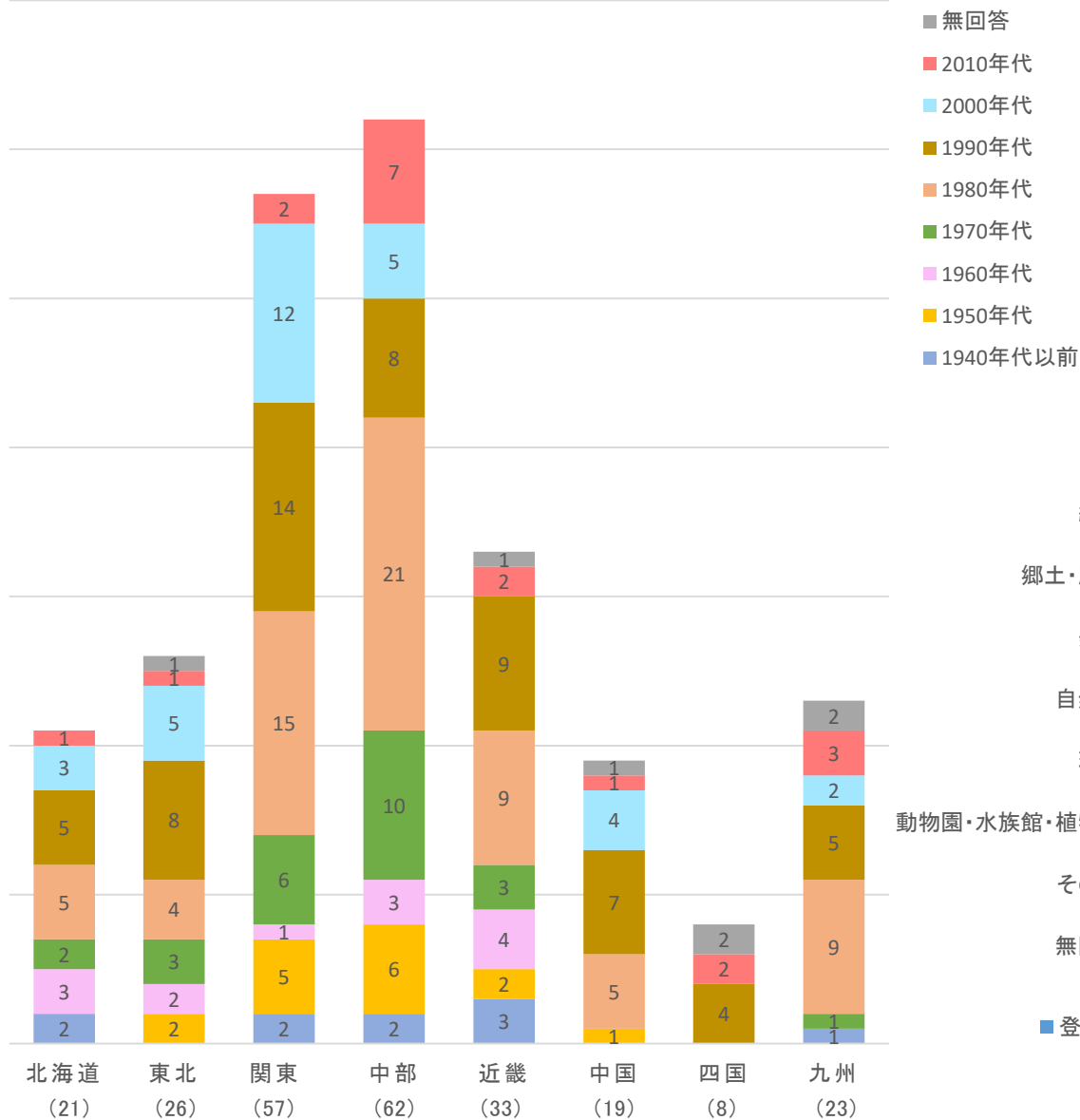
学芸員編 **231館/425館**（回答率**54.4%**）

地方毎の回答数【学芸員編】 合計：231館			
北海道地方	21	近畿地方	28
東北地方	24	中国地方	20
関東地方	50	四国地方	8
中部地方	60	九州地方	20

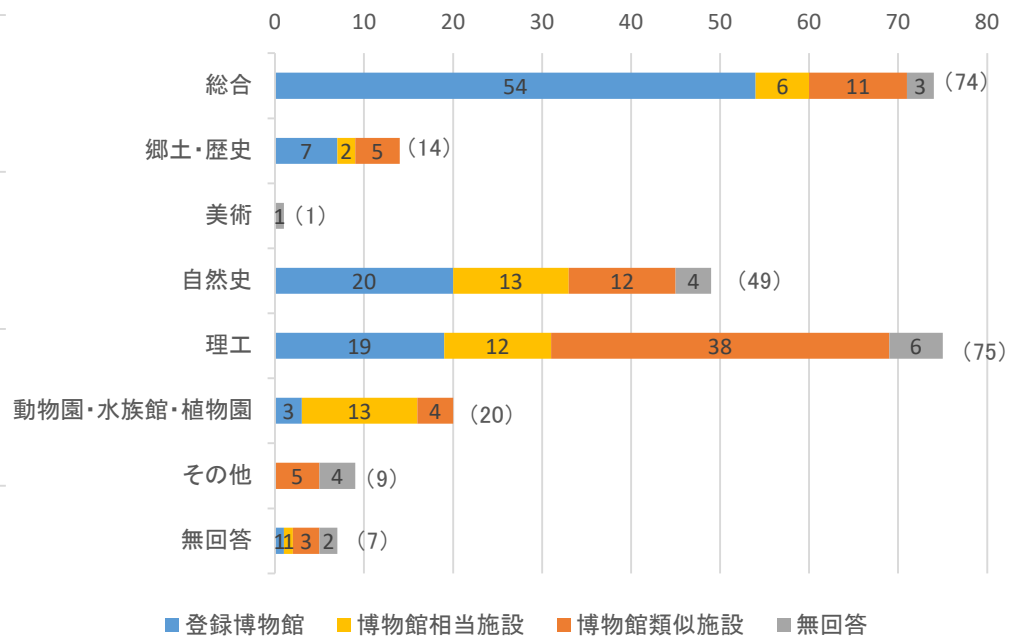


# 【管理運営担当者】

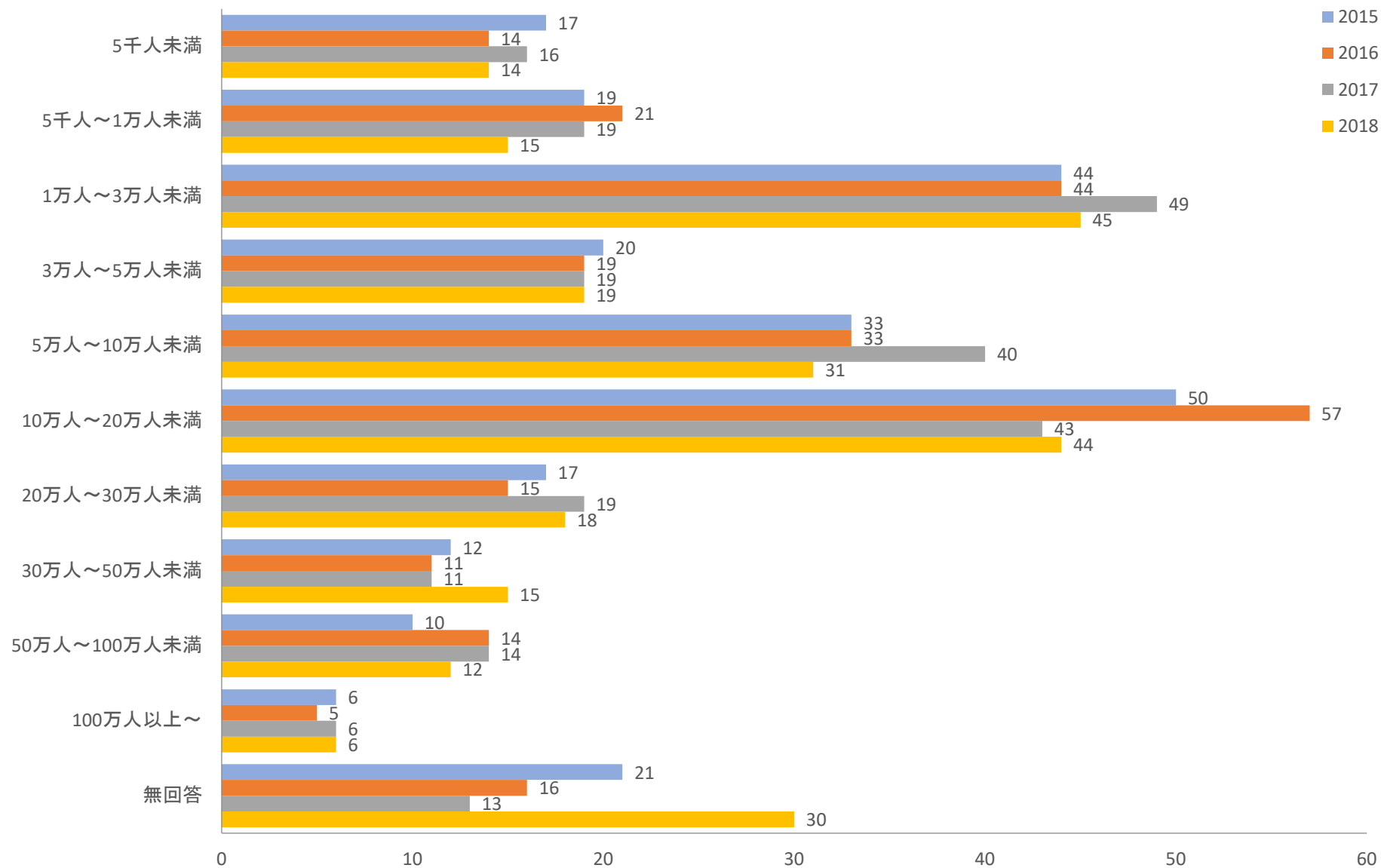
### 回答館の地域と開館年



### 回答館の種別

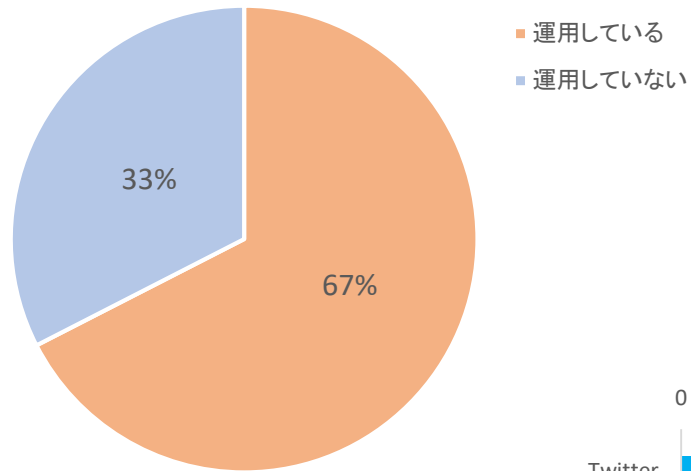


2015～2018年度年間来館者数 [回答館数249館]



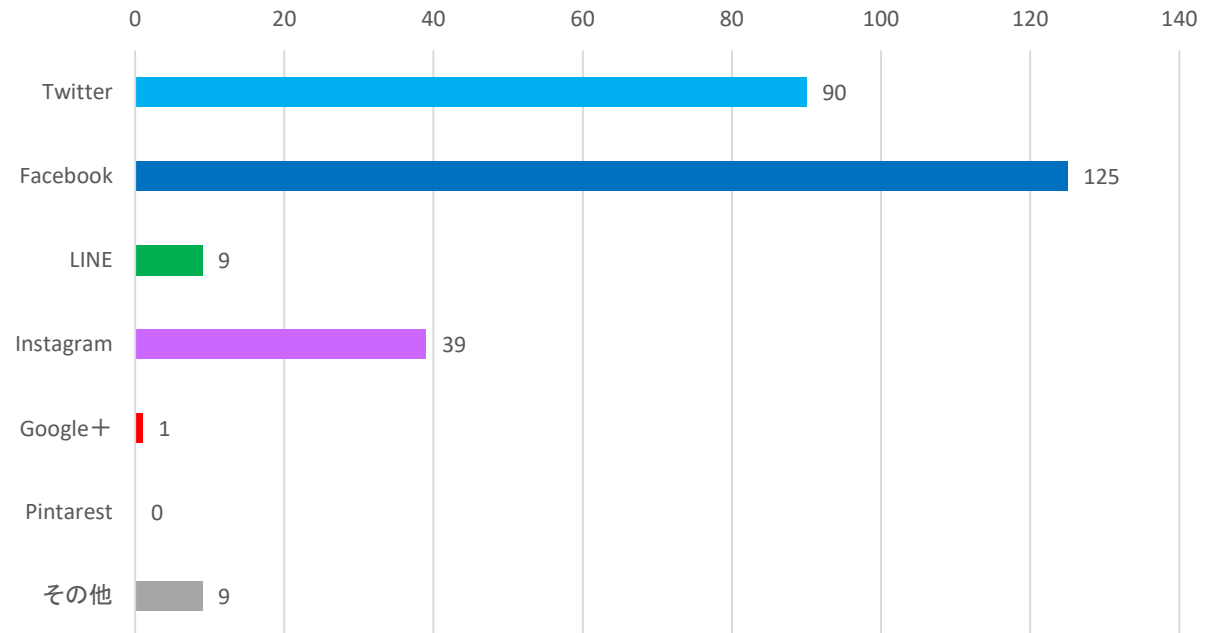
### SNSの運用状況

[回答館数249館]



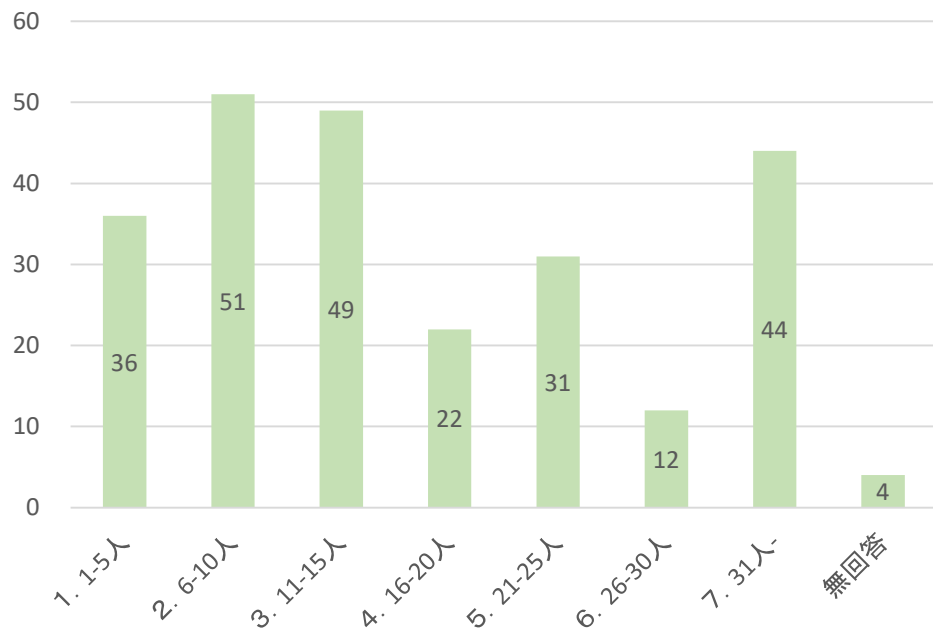
### SNSの種類

[運用している168館が複数回答]

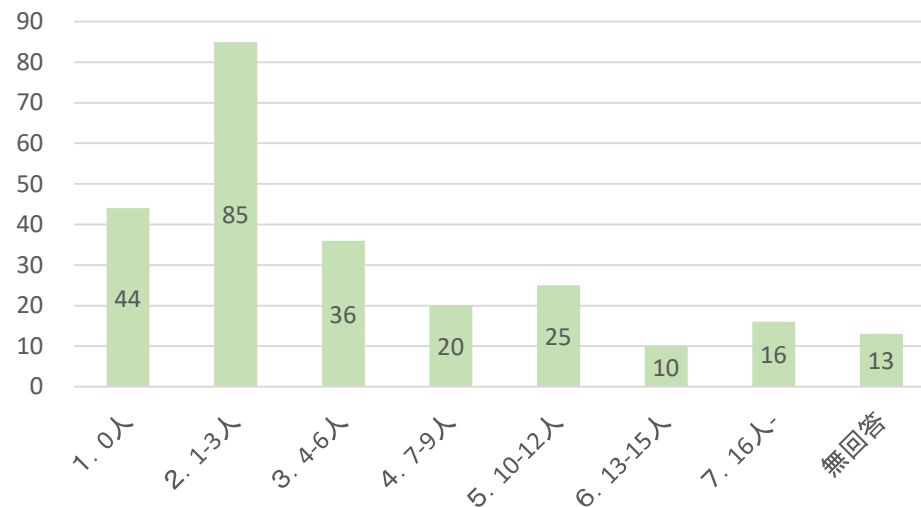




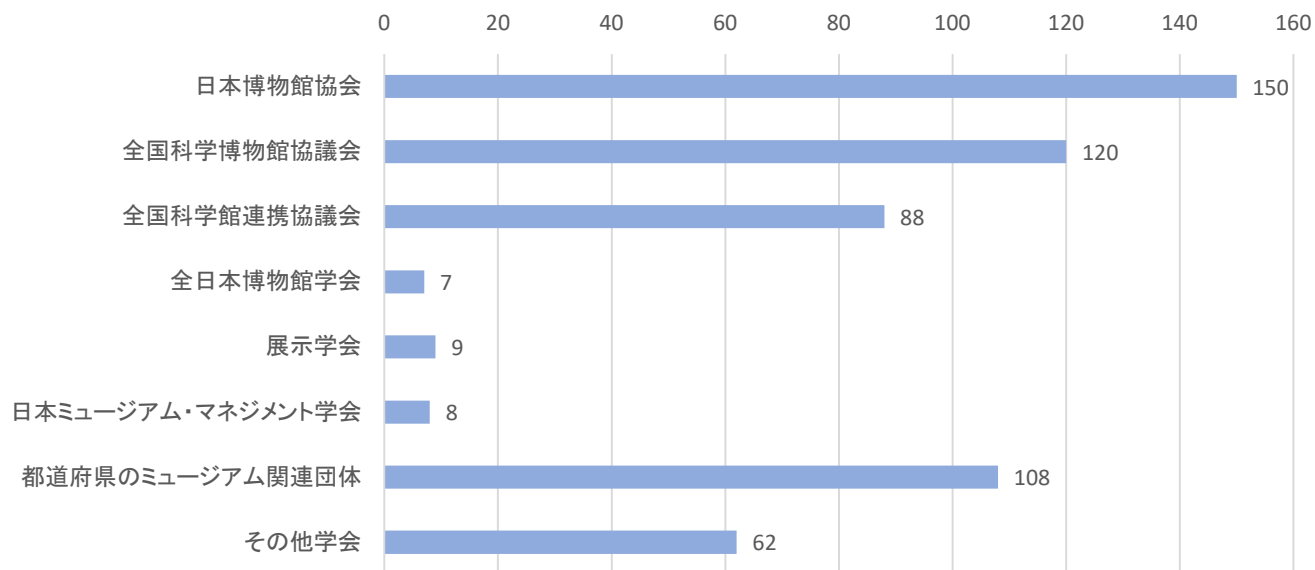
### 総職員数



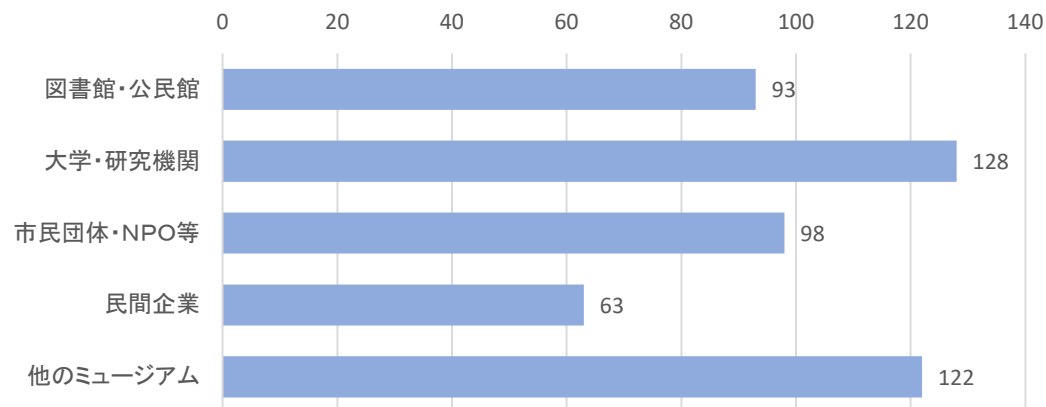
### 学芸職員数



**外部団体への加盟状況** [回答館数249館が複数回答]

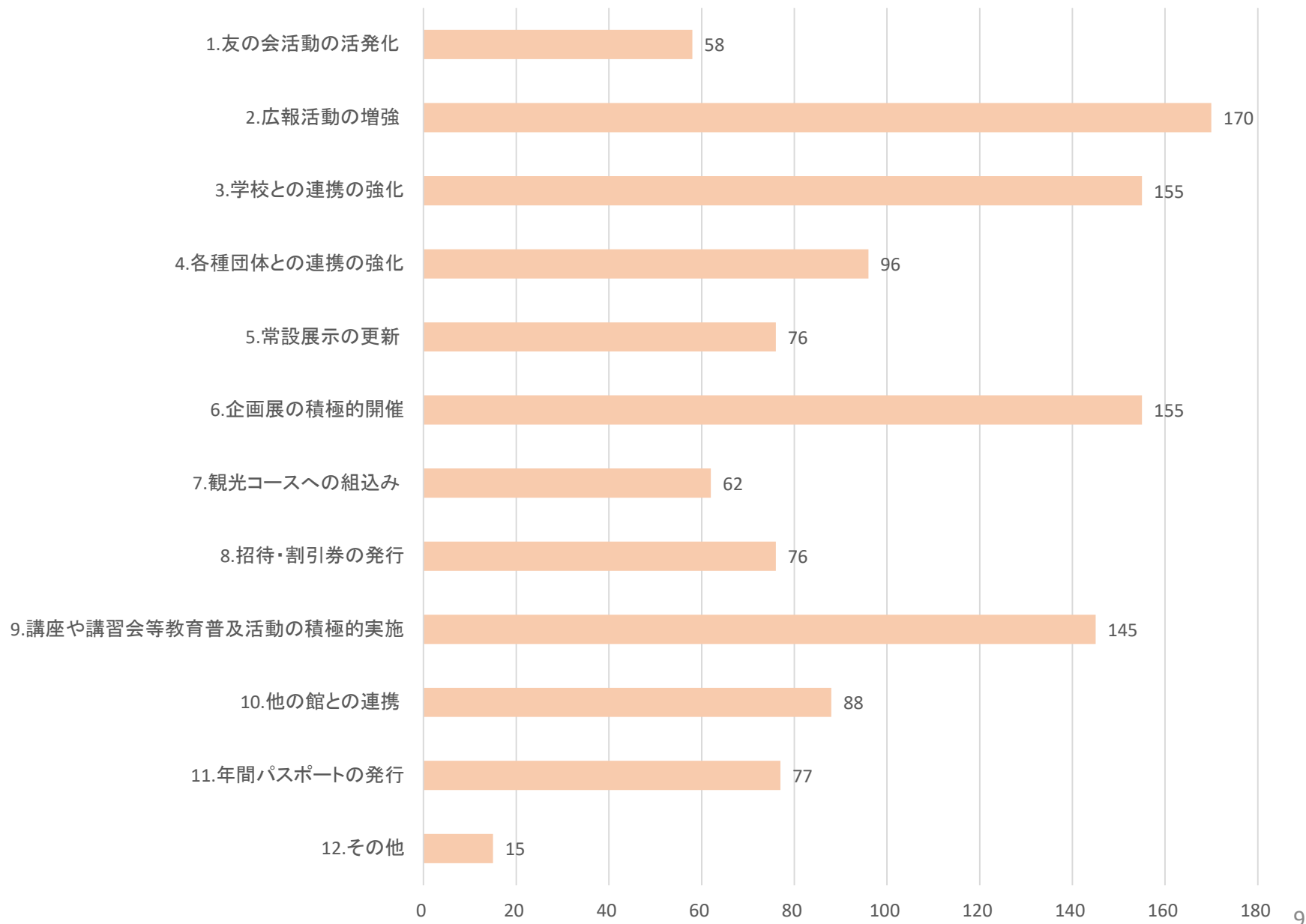


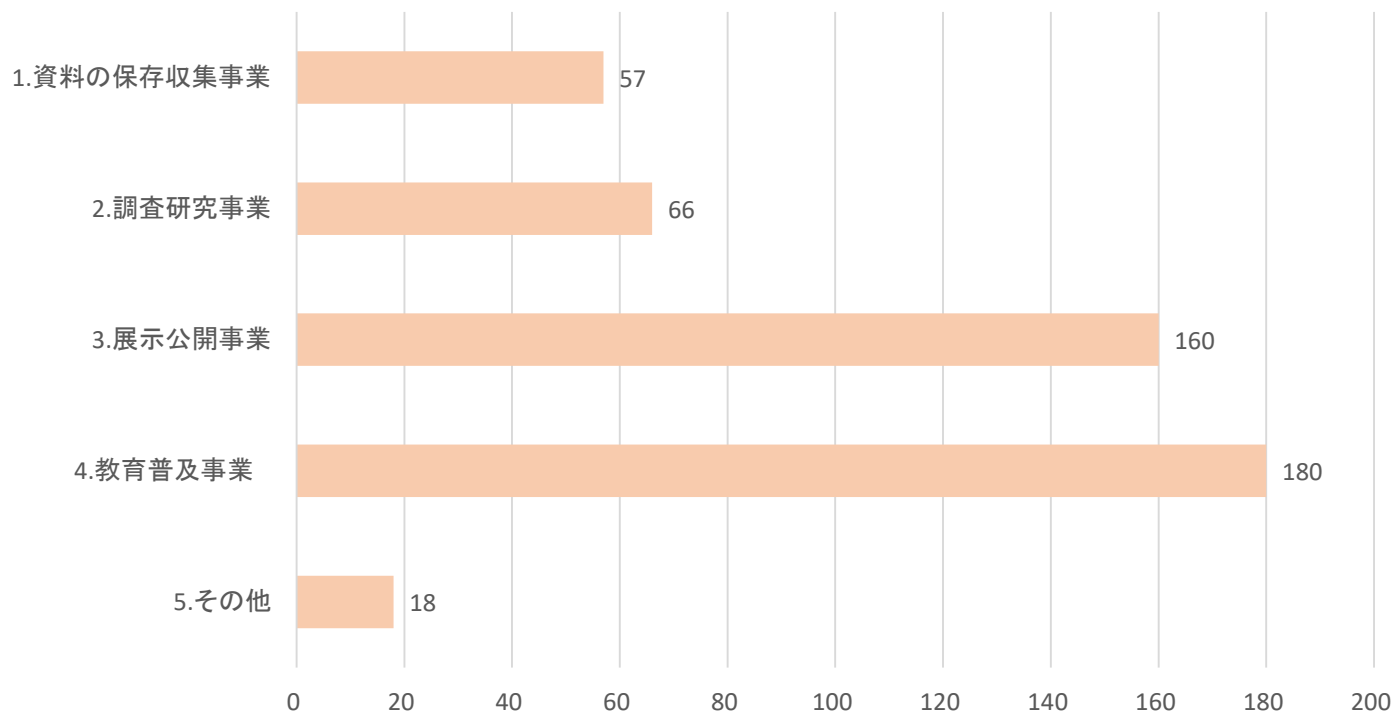
**外部団体への連携状況** [回答館数249館が複数回答]



Q3-2. 集客に対して、どのような活動をされていますか？(複数回答可)

[回答館数249館]





管理運営担当者、学芸業務担当者ともに「教育普及事業」と「展示公開事業」に注力している現状があり、管理運営担当者では「広報活動の増強」「学校との連携の強化」「企画展の積極的開催」「教育普及活動の積極実施（講座や講習会）」などの傾向がみられた。一方、学芸業務担当者では「外部研究者と協力した調査研究活動」「勤務時間外の活動」「調査費の予算問題」「調査結果の成果報告の刊行」など幅広い活動を行っていることが明らかになった。

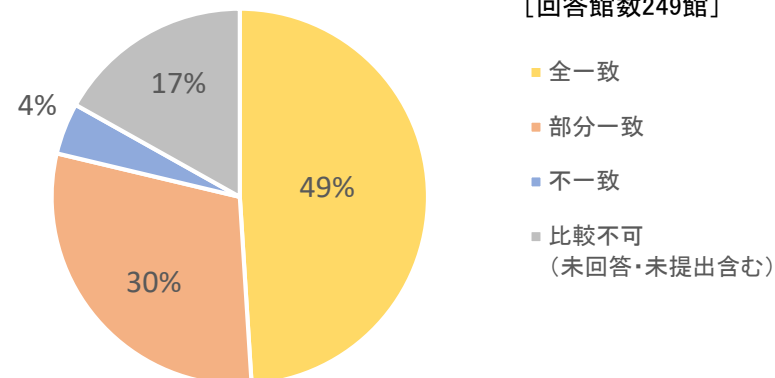
上記のような傾向がみられる中で、以下の回答もあった。

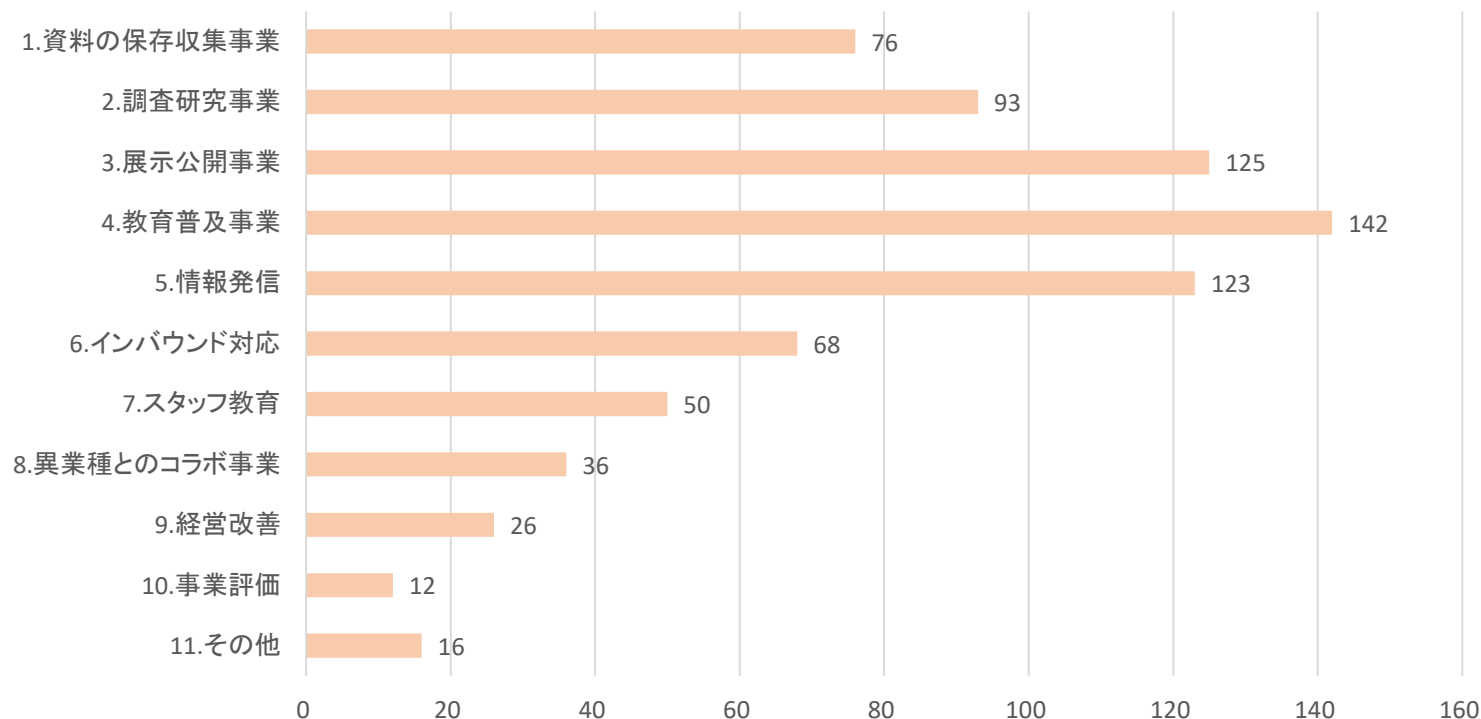
〈管理運営担当者〉・YouTubeを通じた情報発信、・博学連携事業、  
・人材育成事業、・コラボ事業 etc.

〈学芸業務担当者〉・文化財保護事業、・シンクタンク事業、・コラボ事業 etc.

### 管理運営編と学芸員編の比較

[回答館数249館]





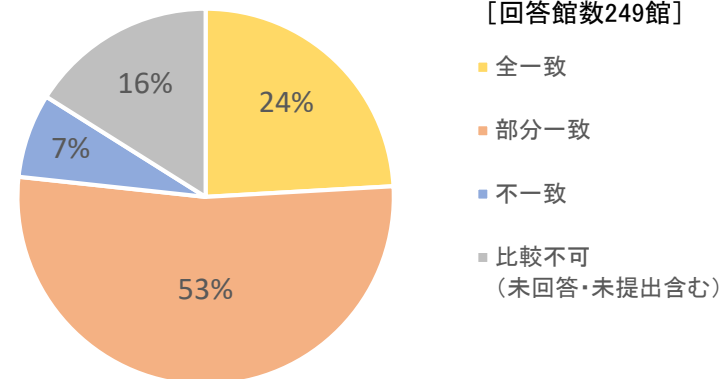
「1. 現状の取り組み」の結果同様に管理運営担当者、学芸業務担当者の両者が「教育普及事業」と「展示公開事業」を中心に引き続き強化していきたいという傾向がみられた。一方、管理運営担当者において経営改善と事業評価に対する回答が顕著に少ないことから課題として注目できることが明らかになった。

その他の回答

- 〈管理運営担当者〉 ・ 地域連携指導者の育成、 ・ 危機管理、  
 ・ 最新デジタル技術の導入 etc.
- 〈学芸業務担当者〉 ・ リニューアル（展示室、展示資料）、  
 ・ 連携事業（地域連携、大学を含む学校との連携）、  
 ・ 研修内容（利用者層拡大、未就学児や障がい者対応） etc.

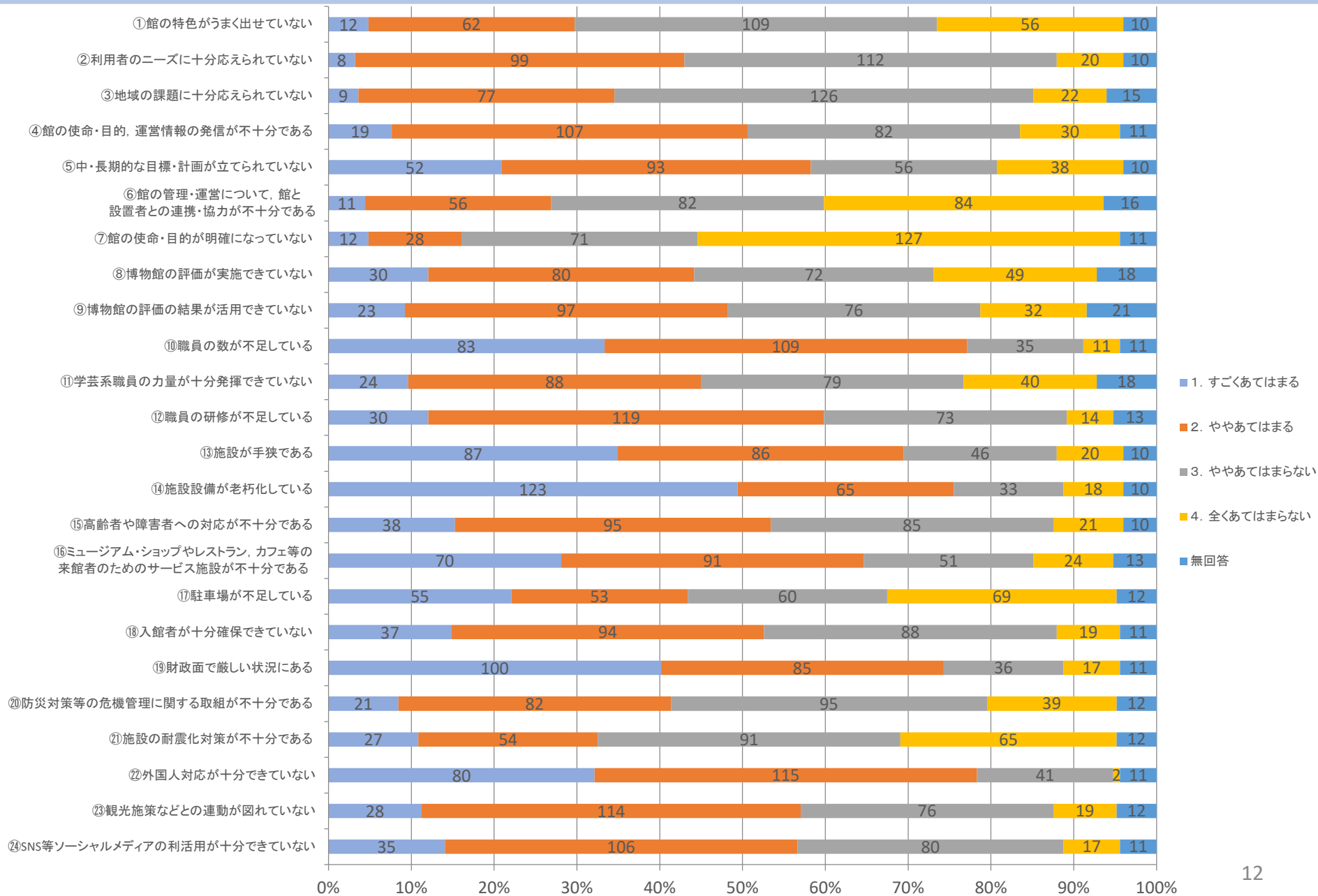
### 管理運営編と学芸員編の比較

[回答館数249館]



Q4-3.貴館運営において、課題と感じている点はどのようなものですか？

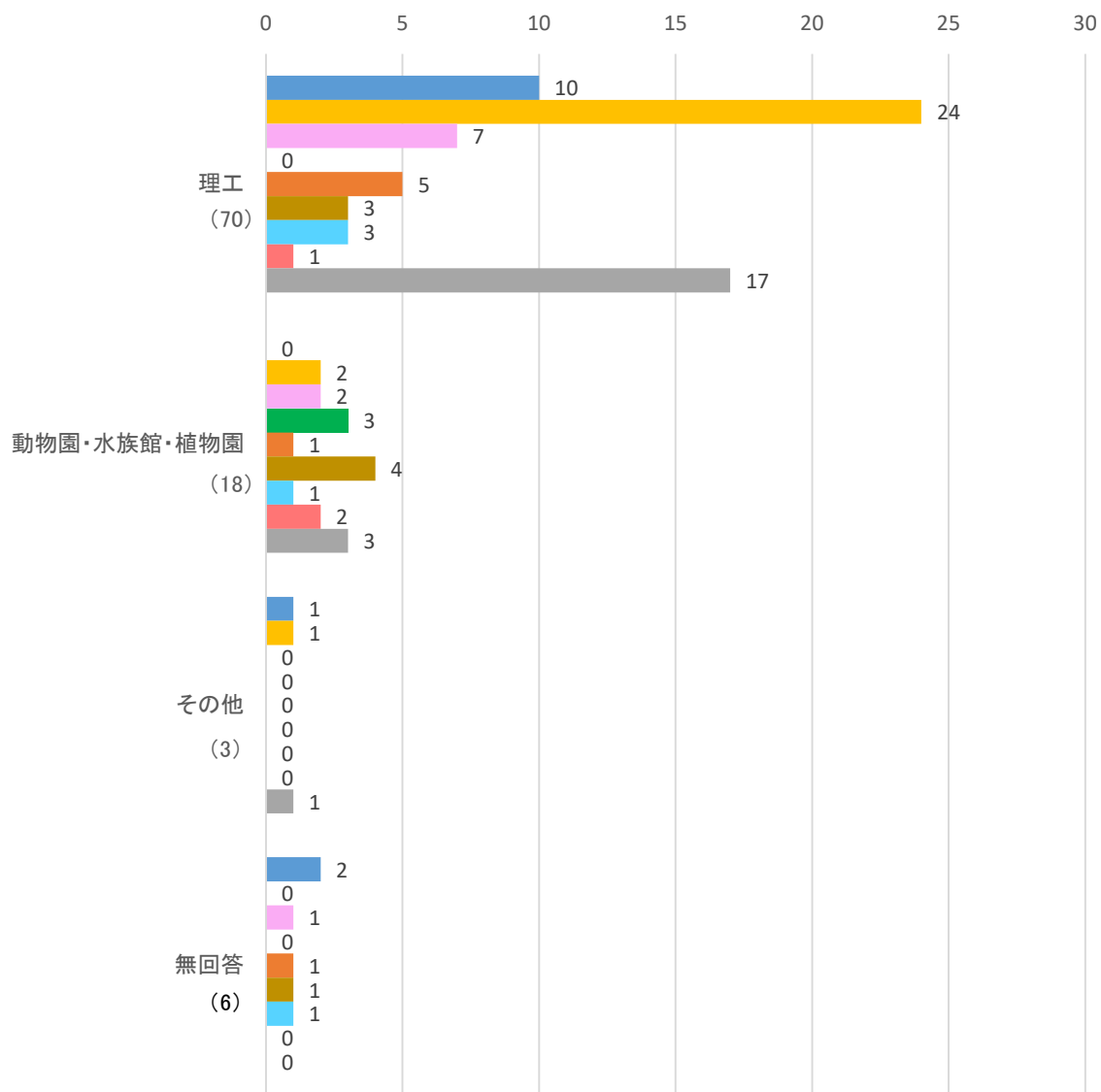
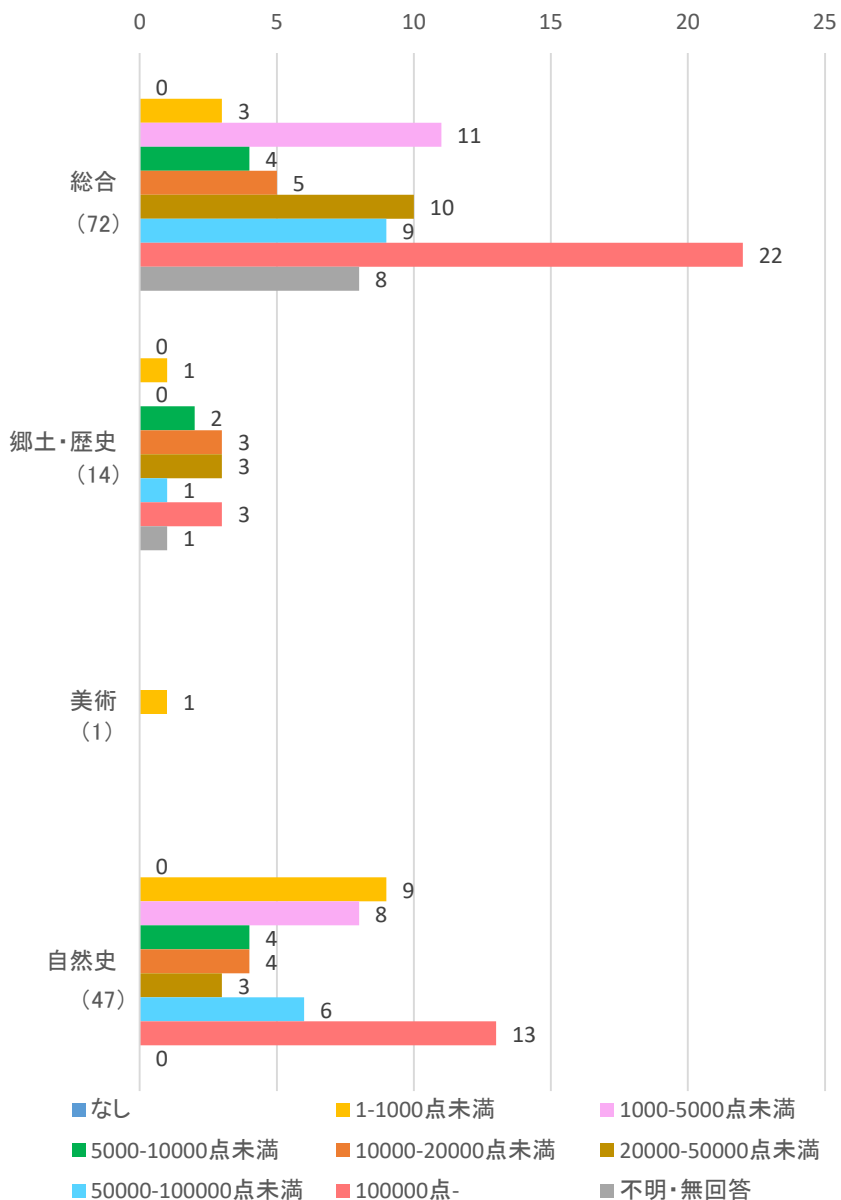
[回答館数249館]



## 【学芸業務担当者】

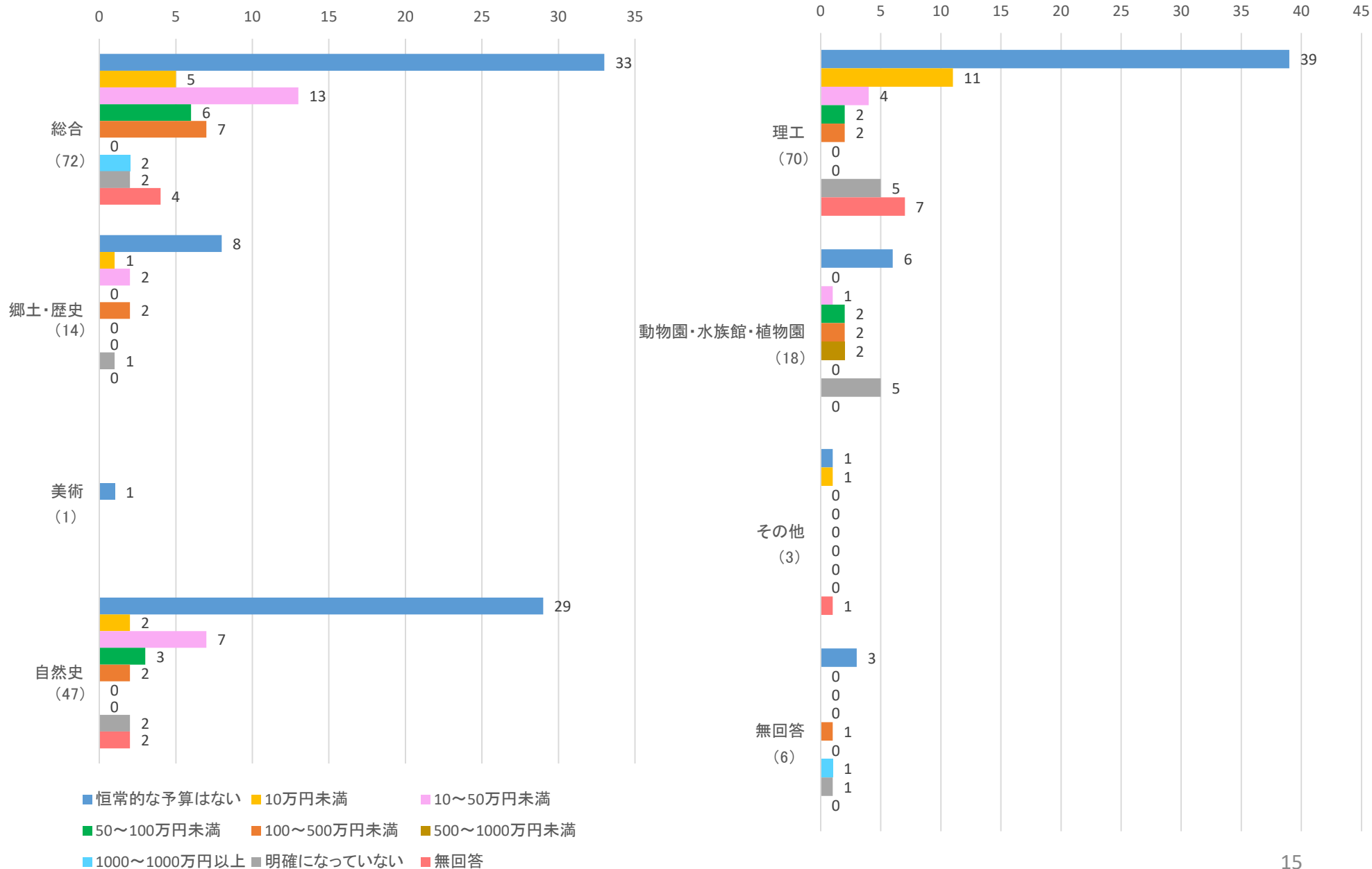
Q1-1: 貴館の所蔵資料数を教えてください。

[回答館数231館]



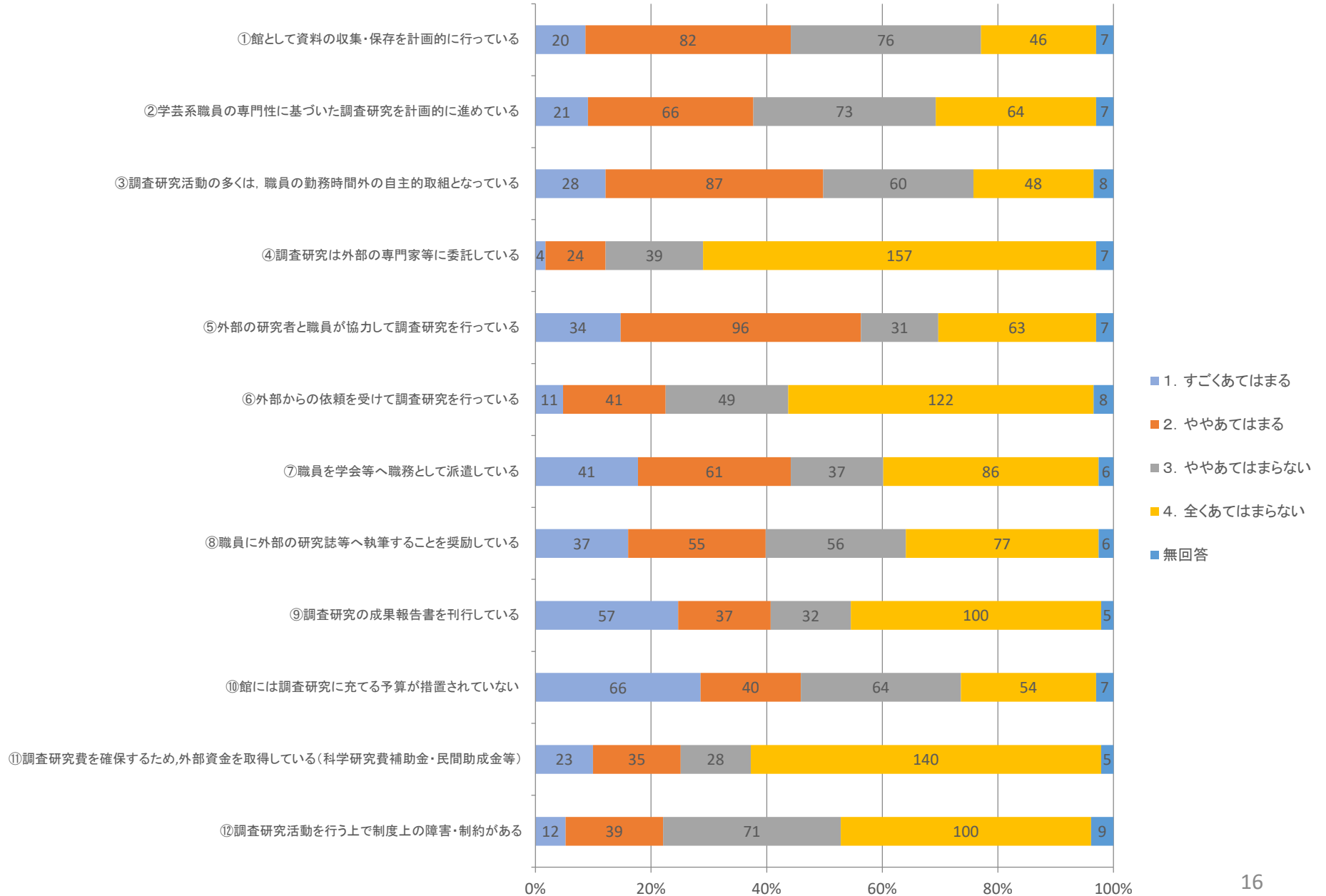


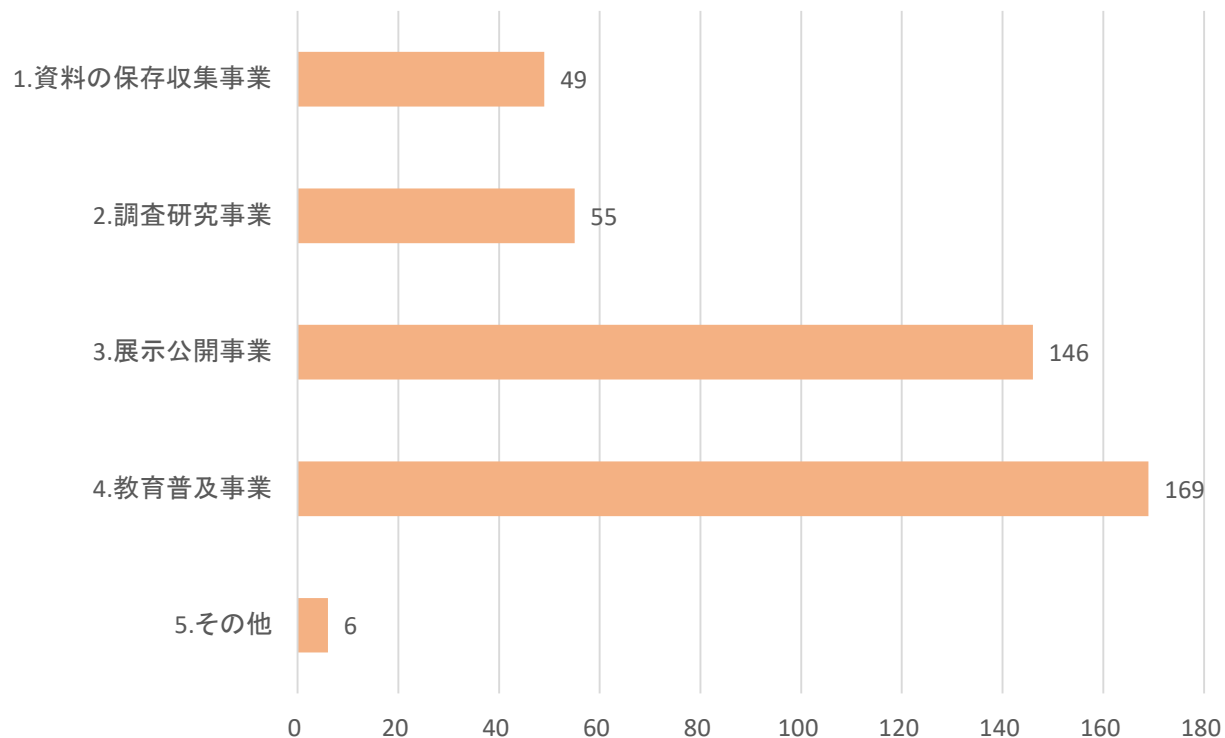
Q1-2. 貴館における年間資料購入予算について、教えてください。 [回答館数231館]



Q1-3. 貴館の調査研究・保存収集活動の実施状況は、どのようなものでしょうか？

[回答館数231館]





管理運営担当者、学芸業務担当者ともに「教育普及事業」と「展示公開事業」に注力している現状があり、管理運営担当者では「広報活動の増強」「学校との連携の強化」「企画展の積極的開催」「教育普及活動の積極実施（講座や講習会）」などの傾向がみられた。一方、学芸業務担当者では「外部研究者と協力した調査研究活動」「勤務時間外の活動」「調査費の予算問題」「調査結果の成果報告の刊行」など幅広い活動を行っていることが明らかになった。

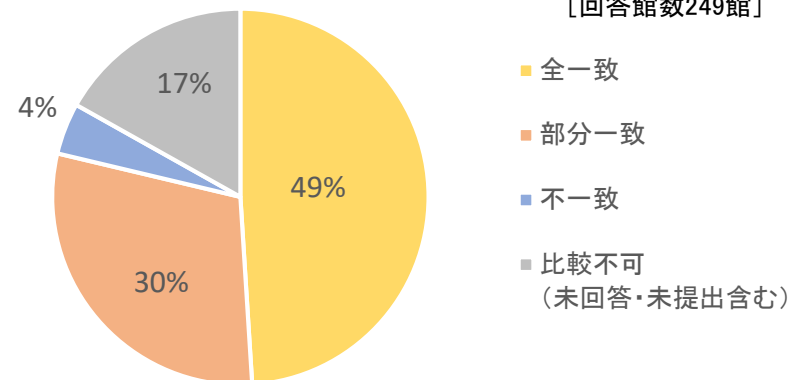
上記のような傾向がみられる中で、以下の回答もあった。

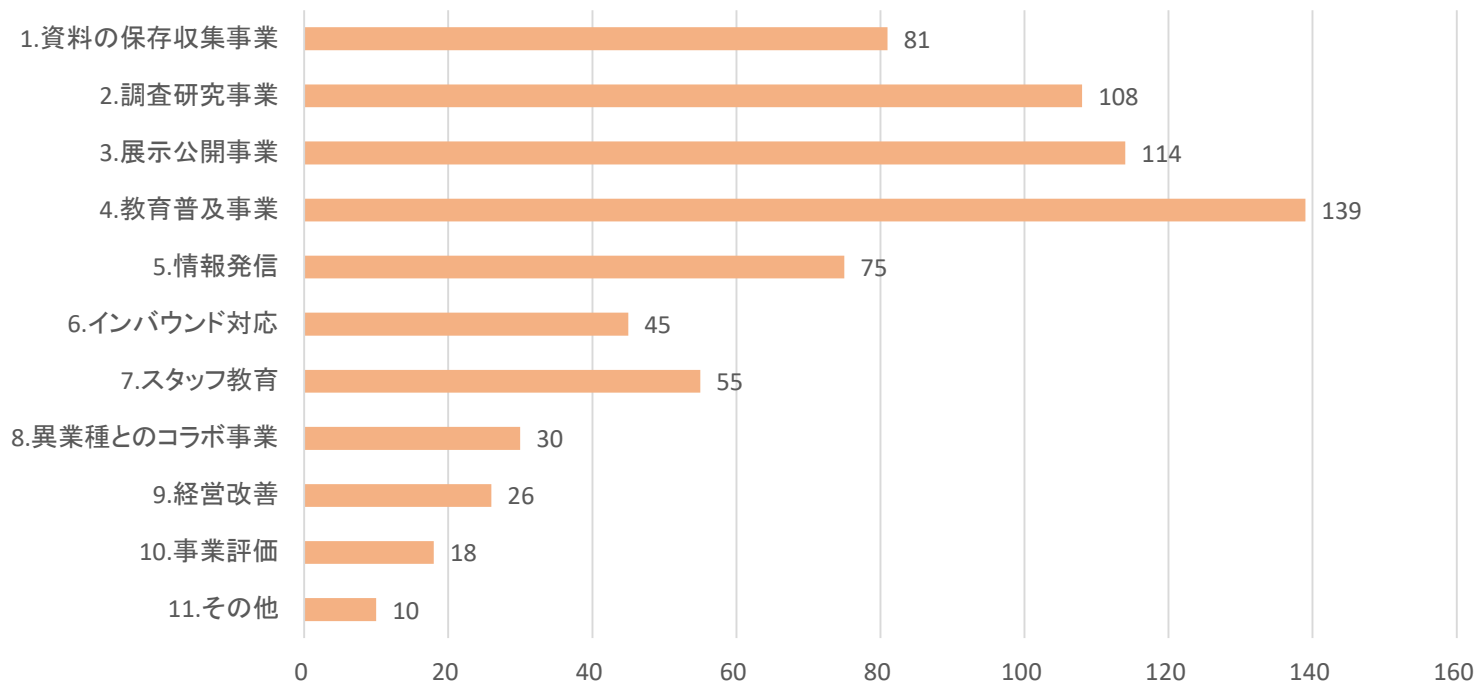
〈管理運営担当者〉・YouTubeを通じた情報発信、・博学連携事業、  
・人材育成事業、・コラボ事業 etc.

〈学芸業務担当者〉・文化財保護事業、・シンクタンク事業、・コラボ事業 etc.

### 管理運営編と学芸員編の比較

[回答館数249館]





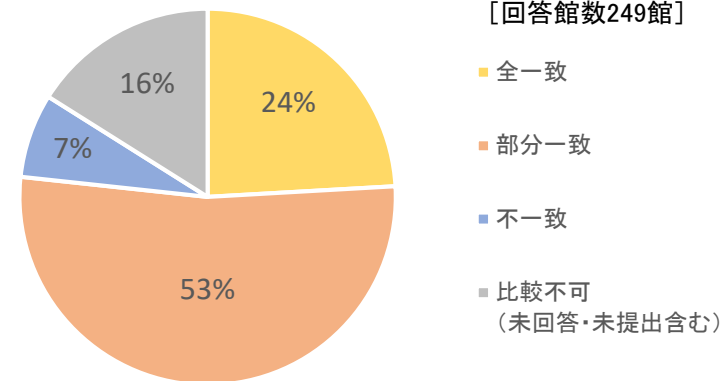
「1.現状の取り組み」の結果同様に管理運営担当者、学芸業務担当者の両者が「教育普及事業」と「展示公開事業」を中心に引き続き強化していきたいという傾向がみられた。一方、管理運営担当者において経営改善と事業評価に対する回答が顕著に少ないことから課題として注目できることが明らかになった。

その他の回答

- 〈管理運営担当者〉 ・地域連携指導者の育成、 ・危機管理、  
 ・最新デジタル技術の導入 etc.
- 〈学芸業務担当者〉 ・リニューアル（展示室、展示資料）、  
 ・連携事業（地域連携、大学を含む学校との連携）、  
 ・研修内容（利用者層拡大、未就学児や障がい者対応） etc.

### 管理運営編と学芸員編の比較

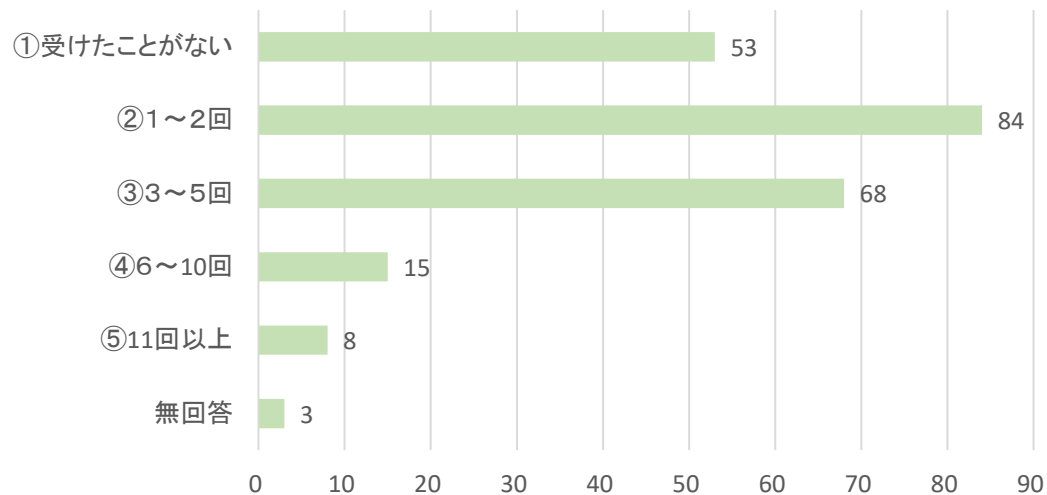
[回答館数249館]



## 研修について

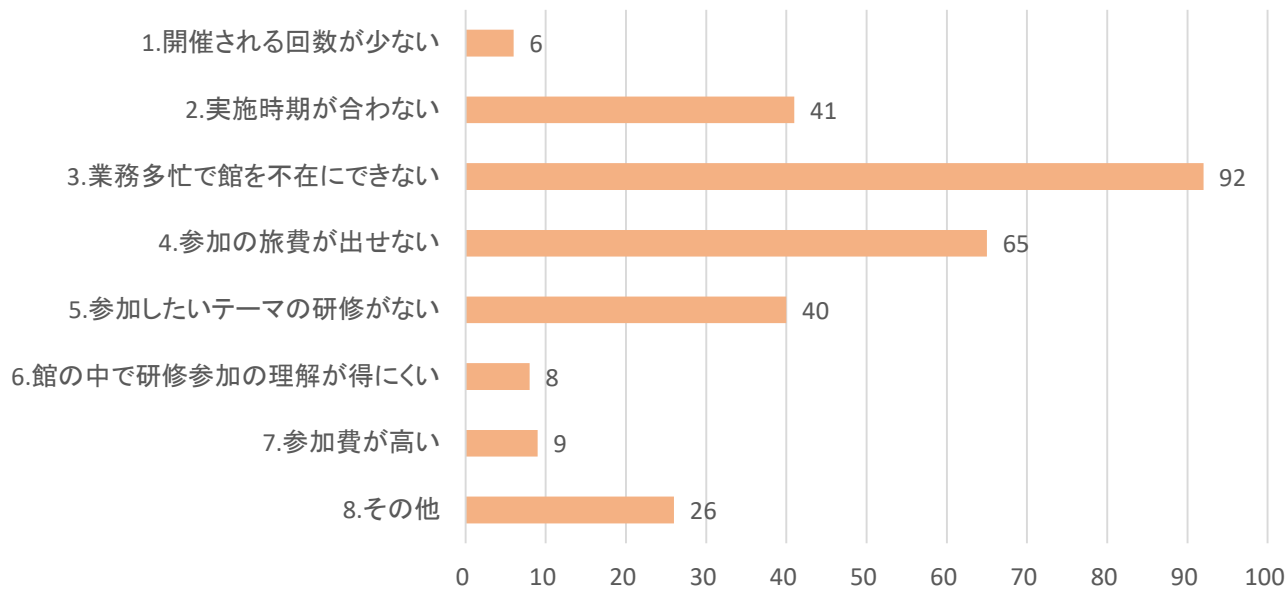
Q1-4.過去3年間で、博物館関係者向けの研修(主催問わず)に参加した回数を教えてください。

[回答館数231館]



Q1-5.研修に参加することが難しいと感じる理由は、どのようなものでしょうか？(複数回答可)

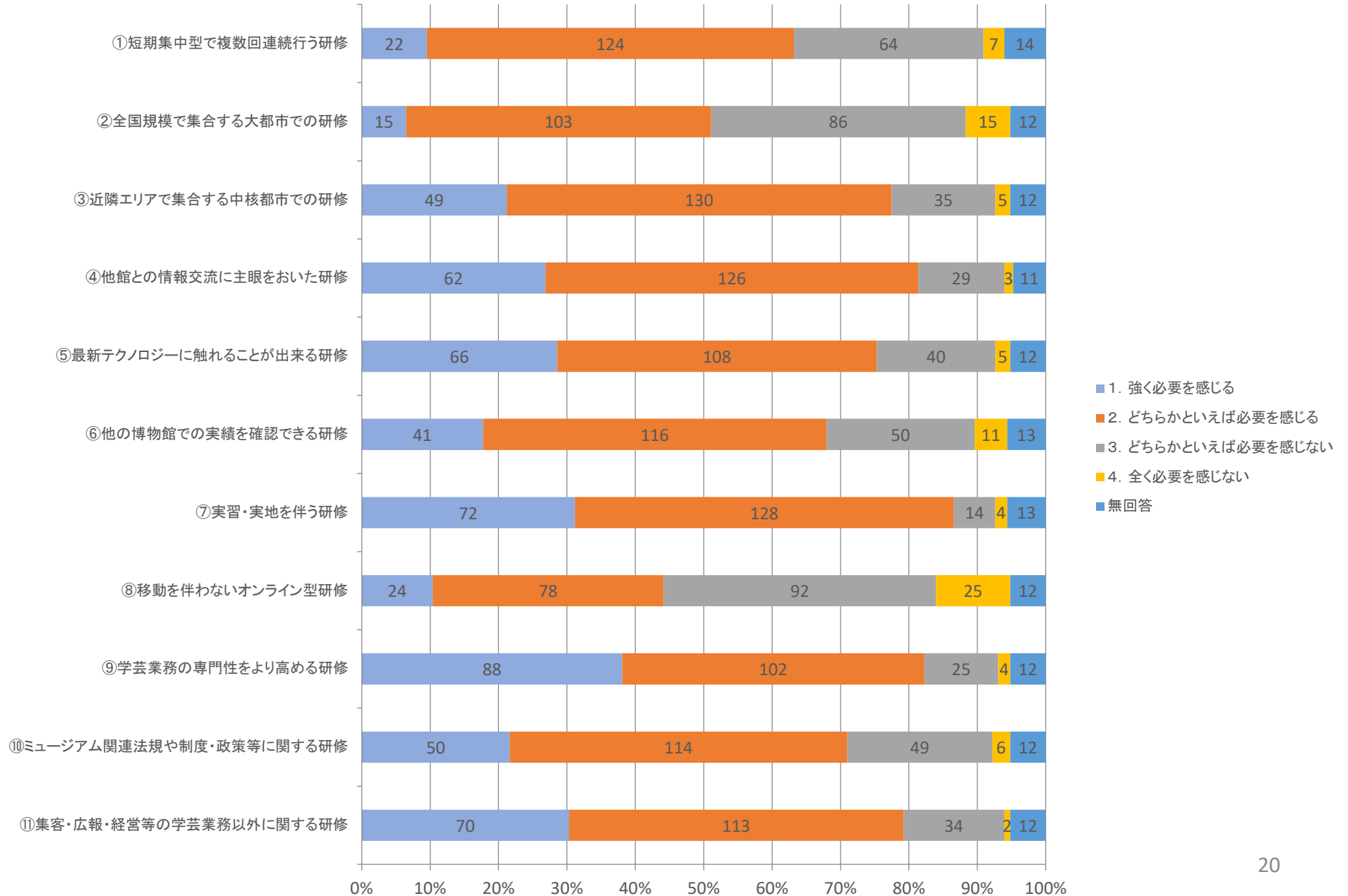
[回答館数231館, 総回答数287]



その他の回答事例  
・教育委員会の理解が得られにくい  
・研修に関する情報が入手しづらい

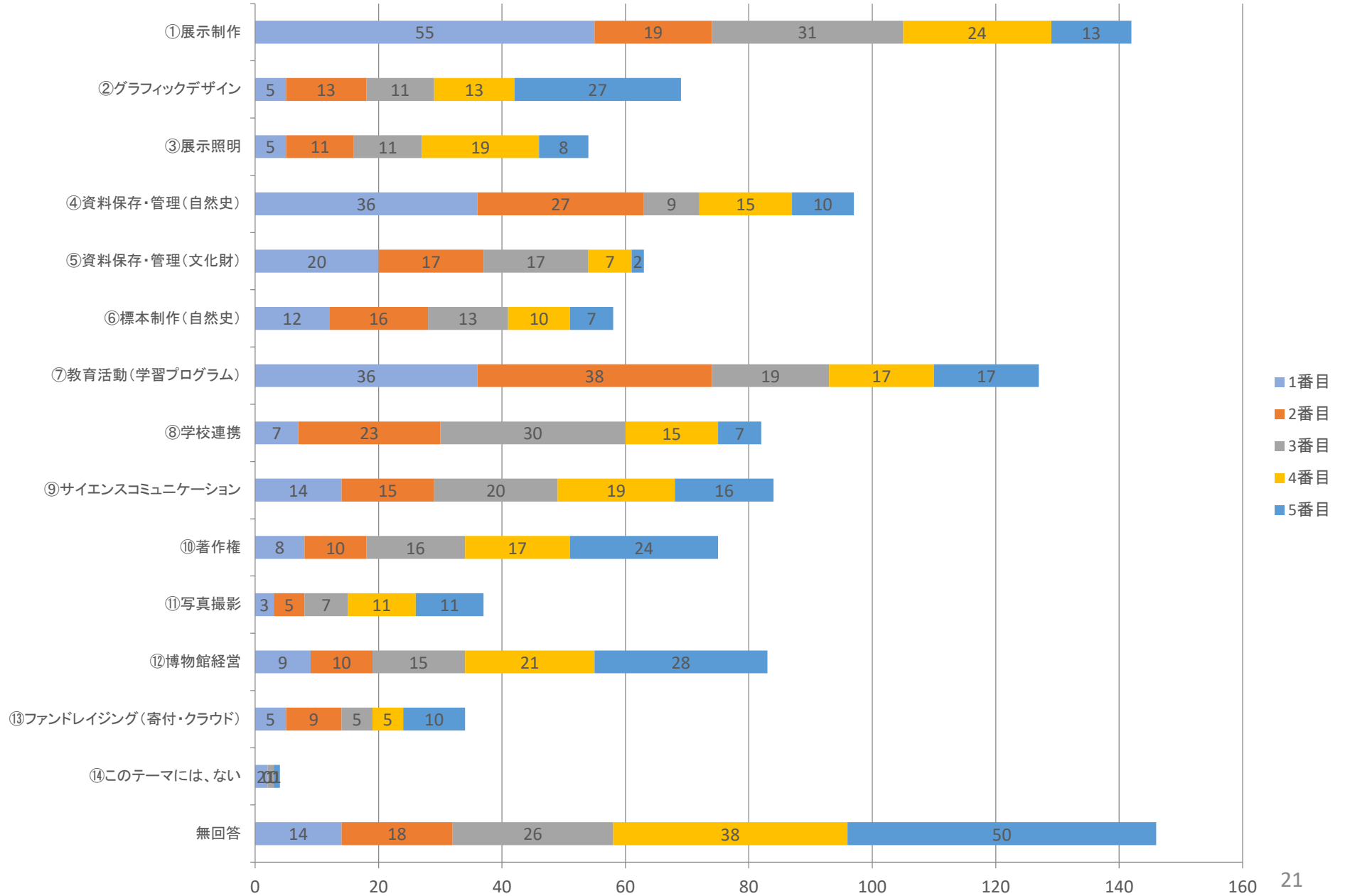
Q2-3. 学芸関連活動において、以下のような外部研修をどのように感じますか？

[回答館数231館]



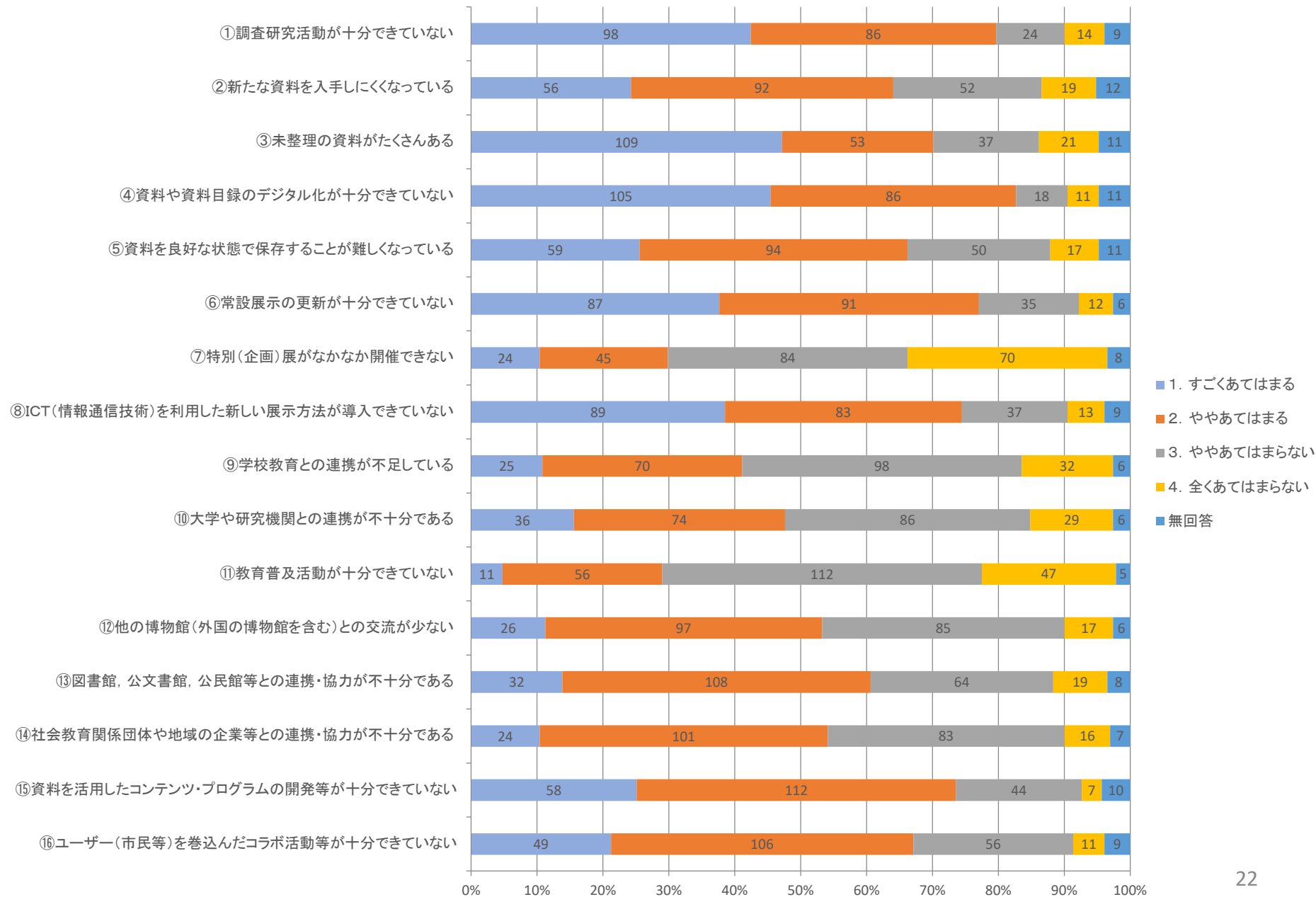
Q2-4. 外部での研修などで受講してみたいと思うテーマとして、当てはまるものが以下の中にありますか？

[回答館数231館]



Q2-5.貴館の活動において、課題と感じている点はどのようなものですか？

[回答館数231館]

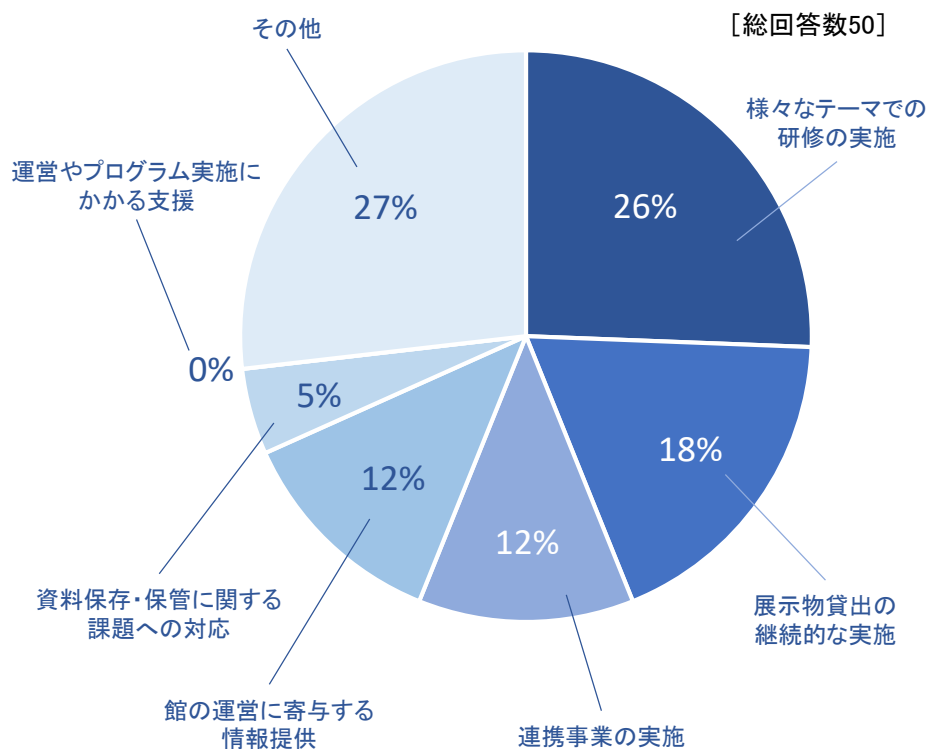




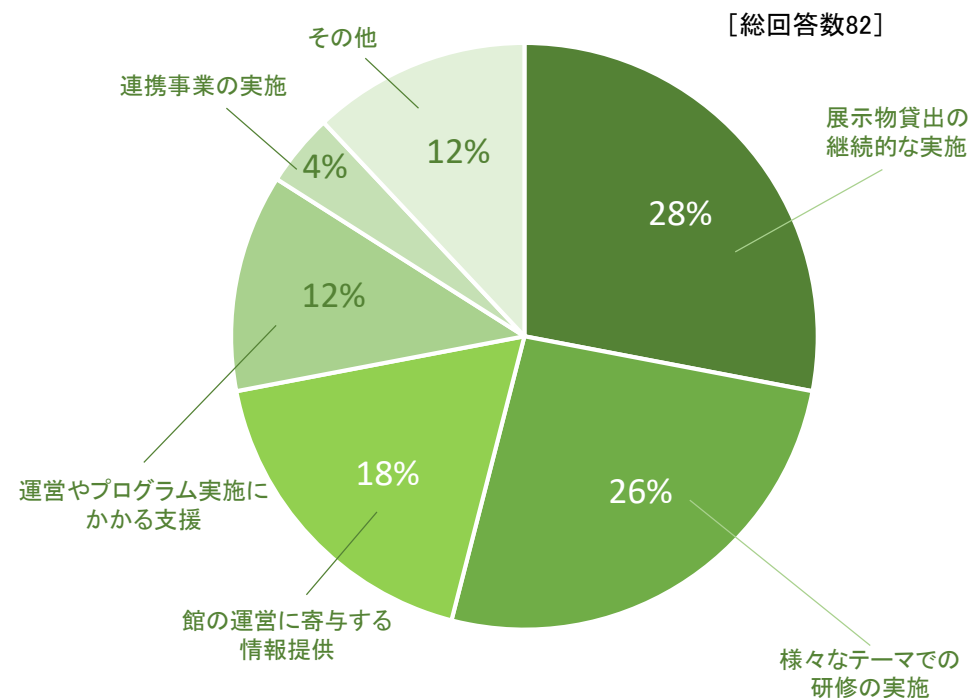
# 自由記述欄「ナショナルセンターに期待すること」の回答傾向

自由記述の内容について、それぞれ以下の項目に分類を行った。

## 【管理運営担当者】



## 【学芸業務担当者】



# 参考資料 (アンケート用紙)

地域博物館意識調査 2019

【管理運営に関わるご担当者さま向け】

Q0 : ご回答担当者さまについて教えてください。

所属部署名		役職名	
お名前			
メールアドレス			
電話 (直通)		FAX	

Q1 : 貴館の基本的情報を教えてください。

貴館名称			
入館料金			
開館年			
博物館種別①	登録博物館・博物館相当施設・博物館類似施設		
博物館種別②	総合・郷土・美術・歴史・自然史・理工・動物園・水族館・植物園・その他 ( )		
設置主体		運営主体	
展示延床面積		m <sup>2</sup>	
年間来館者数	2018年度	(※速報値あれば)	人
	2017年度		人
	2016年度		人
	2015年度		人
SNS アカウントの有無	運用していない・Twitter・Facebook・LINE・Instagram・Google+・Pinterest・その他 ( )		

Q2 : 貴館事業について教えてください。

職員数	人	(内、正規職員数)	人
学芸職員数	人	(内、正規職員数)	人
2018年度予算額	円	(内、自己収入割合)	%

Q3 : 貴館における外部との関わり方について教えてください。

Q3-1. 外部団体との加担・連携について、どのようなものがありますか？ (複数回答可)

- ①日本博物館協会 ②全国科学博物館協議会 ③全国科学館連携協議会 ④全日本博物館学会  
⑤展示学会 ⑥日本ミュージアム・マネージメント学会 ⑦その他の学会 ⑧都道府県のミュージアム関連団体  
⑨図書館・公民館との連携 ⑩大学・研究機関との連携 ⑪市民団体・NPO 等との連携 ⑫民間企業との連携 ⑬他のミュージアムとの連携

Q3-2. 業者に対して、どのような活動をされていますか？ (複数回答可)

- ①友の会活動の活発化 ②広報活動の増強 ③学校との連携の強化 ④各種団体との連携の強化  
⑤常設展示の更新 ⑥企画展の積極的開催 ⑦観光コースへの組み込み ⑧招待・割引券の発行  
⑨講座や講習会等教育普及活動の積極的実施 ⑩他の館との連携 ⑪年間パスポートの発行  
⑫その他 ( )

地域博物館意識調査 2019

Q4 : 貴館における今後の展望について教えてください。

Q4-1. 現在貴館で最も注力している事業分野は、どのようなものでしょうか？ (複数回答可)

- ①資料の保存収集事業 ②調査研究事業 ③展示公開事業 ④教育普及事業  
⑤その他 ( )

Q4-2. これから力をいれていきたい分野・テーマは、どのようなものでしょうか？ (複数回答可)

- ①資料の保存収集事業 ②調査研究事業 ③展示公開事業 ④教育普及事業  
⑤情報発信 ⑥インバウンド対応 ⑦スタッフ教育 ⑧異業種とのコラボ事業 ⑨経営改善 ⑩事業評価  
⑪その他 ( )

Q4-3. 貴館運営において、課題と感じている点はどのようなものでしょうか？

	すこ くあ ては まる	やや あ ては まる	やや あ ては ま ら ない	全 く あ て は ま ら ない
1 館の特色がうまく出せていない				
2 利用者のニーズに十分応えられていない				
3 地域の課題に十分応えられていない				
4 館の使命・目的、運営情報の発信が不十分である				
5 中・長期的な目標・計画が立てられていない				
6 館の管理・運営について、館と設置者との連携・協力が不十分である				
7 館の使命・目的が明確になっていない				
8 博物館の評価が実施できていない				
9 博物館の評価の結果が活用できていない				
10 職員の数が不足している				
11 学芸系職員の力量が十分発揮できていない				
12 職員の研修が不足している				
13 施設が手狭である				
14 施設設備が老朽化している				
15 高齢者や障害者への対応が不十分である				
16 ミュージアム・ショップ・レストラン、カフェ等の来館者のためのサービス施設が不十分である				
17 駐車場が不足している				
18 入館者が十分確保できていない				
19 財政面で厳しい状況にある				
20 防災対策等の危機管理に関する取組が不十分である				
21 施設の耐震化対策が不十分である				
22 外国人対応が十分できていない				
23 観光施策などとの運動が図れていない				
24 SNS等ソーシャルメディアの活用が十分できていない				

## 地域博物館意識調査 2019

Q4-4. 国立科学博物館など、ナショナルセンターに期待すること／実施して欲しい支援策など、何かありますか？

自由にお書きください。(FA)

ご協力ありがとうございました。

<最後に>

貴館のパンフレットをはじめとして、貴館に関する資料がございましたら、返信用封筒に同封の上お送りいただきたくお願い申し上げます。また、年報等をwebでアップされている場合には、URL等を教えていただければと思います。

—ご送付いただきたい資料(例)—

- ・貴館パンフレット
- ・貴館活動チラシ
- ・その他(管理運営計画書など)

## 地域博物館意識調査 2019

【「調査研究・展示・教育普及」等を担う学芸関連ご担当者さま向け】

Q0 : ご回答担当者さまについて教えてください。

所属部署名		役職名	
お名前			
メールアドレス			
電話(直通)		FAX	

Q1 : 貴館の学芸関連活動状況を教えてください。

Q1-1. 貴館の収蔵資料数を教えてください。 収蔵資料数: \_\_\_\_\_ 点(※大凡で結構です)

Q1-2. 貴館における年間資料購入予算について、教えてください。

- ① 恒常的な予算はない
- ② 10万円未満
- ③ 10～50万円未満
- ④ 50～100万円未満
- ⑤ 100～500万円未満
- ⑥ 500～1000万円未満
- ⑦ 1000万円以上
- ⑧ 明確になっていない

Q1-3. 貴館の調査研究・保存収集活動の実施状況は、どのようなものでしょうか？

	まる すく あは は	る や あて は ま	ら な い や あて は ま	ら な い	全 く あ て は ま
1 館として資料の収集・保存を計画的に行っている					
2 学芸系職員の専門性に基じた調査研究を計画的に進めている					
3 調査研究活動の多くは、職員の勤務時間外の自主的取組となっている					
4 調査研究は外部の専門家等に委託している					
5 外部の研究者と職員が協力して調査研究を行っている					
6 外部からの依頼を受けて調査研究を行っている					
7 職員を学会等へ職務として派遣している					
8 職員に外部の研究誌等へ執筆することを奨励している					
9 調査研究の成果報告書を刊行している					
10 館には調査研究に充てる予算が措置されていない					
11 調査研究費を確保するため、外部資金を取得している (科学研究費補助金・民間助成金等)					
12 調査研究活動を行う上で制度上の障害・制約がある					

Q1-4. 過去3年間で、博物館関係者向けの研修(主催問わず)に参加した回数を教えてください。

※回答者の方の経験でお答えください。

- ① 受けたことがない
- ② 1～2回
- ③ 3～5回
- ④ 6～10回
- ⑤ 11回以上

Q1-5. 上記設問で①または②と回答した方に伺います。

研修に参加することが難しいと感じる理由は、どのようなものでしょうか？(複数回答可)

- ① 開催される回数が少ない
- ② 実施時期が合わない
- ③ 業務多忙で館を不在にできない
- ④ 参加の旅費が出せない
- ⑤ 参加したいテーマの研修がない
- ⑥ 館の中で研修参加の理解が得にくい
- ⑦ 参加費が高い
- ⑧ その他( )

地域博物館意識調査 2019

Q2：今後の展望について教えてください。（※回答者さまの見解としてお答えください）

Q2-1. 現在貴館で最も注力している事業分野は、どのようなものでしょうか？（複数回答可）

- ①資料の保存収集事業 ②調査研究事業 ③展示公開事業 ④教育普及事業  
⑤その他（ ）

Q2-2. これから力をいれたい分野・テーマは、どのようなものでしょうか？（複数回答可）

- ① 資料の保存収集事業 ②調査研究事業 ③展示公開事業 ④教育普及事業 ⑤情報発信  
⑥インバウンド対応 ⑦スタッフ教育 ⑧異業種とのコラボ事業 ⑨経営改善 ⑩事業評価  
⑪その他（ ）

Q2-3. 学芸関連活動において、以下のような外部研修をどのように感じますか？

	強く必要を感じている	必要を感じている	必要を感じていない	全く必要を感じていない
1 短期集中型で複数回連続行う研修				
2 全国規模で集合する大都市での研修				
3 近隣エリアで集合する中核都市での研修				
4 他館との情報交流に主眼をおいた研修				
5 最新テクノロジーに触れることが出来る研修				
6 他の博物館での実績を確認できる研修				
7 実習・実地を伴う研修				
8 移動を伴わないオンライン型研修				
9 学芸業務の専門性をより高める研修				
10 ミュージアム関連法規や制度・政策等に関する研修				
11 集客・広報・経営等の学芸業務以外に関する研修				

Q2-4. 外部での研修などで受講してみたいと思うテーマとして、当てはまるものが以下の中にありますか？

当てはまるモノを最大 5 つまでお教えてください。

- ①展示制作 ②グラフィックデザイン ③展示照明 ④資料保存・管理（自然史）  
⑤資料保存・管理（文化財） ⑥標本製作（自然史）  
⑦教育活動（学習プログラム） ⑧学校連携 ⑨サイエンスコミュニケーション  
⑩著作権 ⑪写真撮影 ⑫博物館経営  
⑬ファンディング（寄付・クラウド） ⑭このテーマには、ない

優先度	1 番目	2 番目	3 番目	4 番目	5 番目
番号 (①～⑭)					

地域博物館意識調査 2019

Q2-4-1. 上記を含め、外部研修などで具体的に受講したいテーマや内容があれば、自由にお教えてください。

Q2-5. 貴館の活動において、課題と感じている点はどのようなものでしょうか？

	すこしくあてはまる	ややあてはまる	ややあてはまらない	全くあてはまらない
1 調査研究活動が十分できていない				
2 新たな資料を入手しにくくなっている				
3 未整理の資料がたくさんある				
4 資料や資料目録のデジタル化が十分できていない				
5 資料を良好な状態で保存することが難しくなっている				
6 常設展示の更新が十分できていない				
7 特別（企画）展がなかなか開催できない				
8 ICT（情報通信技術）を利用した新しい展示方法が導入できていない				
9 学校教育との連携が不足している				
10 大学や研究機関との連携が不十分である				
11 教育普及活動が十分できていない				
12 他の博物館（外国の博物館を含む）との交流が少ない				
13 図書館、公文書館、公民館等との連携・協力が不十分である				
14 社会教育関係団体や地域の企業等との連携・協力が不十分である				
15 資料を活用したコンテンツ・プログラムの開発等が十分できていない				
16 ユーザー（市民等）を巻き込んだコラボ活動等が十分できていない				

Q2-6. 国立科学博物館など、ナショナルセンターに期待すること／実施して欲しい支援策など、何かありますか？自由にお書きください。（FA）

ご協力ありがとうございました。